

平成23年度 実施メニュー実施結果表

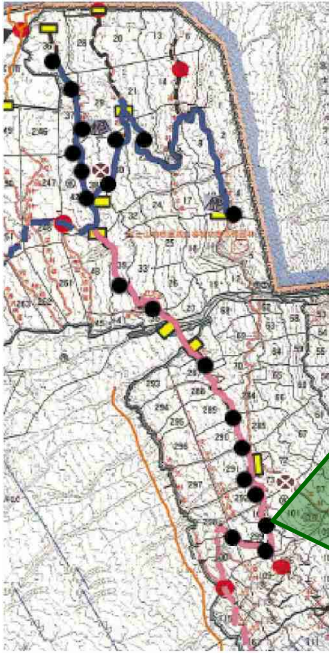
取組名	野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備（拡充）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	富士山国有林13、20林班外 栗ノ木沢、十万石、上井出林道沿線外 平成24年1月21日～2月12日のうち6日間（実捕獲期間）
取組の背景及び必要性	シカ等野生鳥獣被害が増加していること等に対し、地域住民と野生鳥獣の棲み分け、共生を可能とする地域づくりに取り組むことで、民・国連携による事業が期待される。
取組の内容	<p>富士宮市鳥獣被害防止対策協議会では富士山麓周辺に生息しているニホンジカの被害対策として、平成22年度から①ニホンジカの生息状況調査、②ニホンジカの被害状況調査（森林の剥皮被害等）、③ニホンジカとの共存に向けた対策（シカ侵入防止策）を実施してきた。</p> <p>本年度は、ニホンジカを効果的に捕獲するため、シャープシューティング（捕獲等の経験により警戒心が高まる固体が発生しないよう、餌付けを実施したうえで、少人数により捕獲を実施し、一度の捕獲で少数の群れの全頭を捕獲する手法）を当署で初めて実施した。</p>
国有林担当部局・役割	<p>担当：静岡森林管理署 役割：関係行政機関等への連絡調整、「富士宮市鳥獣被害防止対策協議会」や、県、市等が開催する鳥獣保護・対策に関する会議への積極的な参画等</p>
連携協働相手先・役割	<p>連携相手方：地方公共団体、NPO等 役割：関係機関等への連絡</p>

【参考資料】

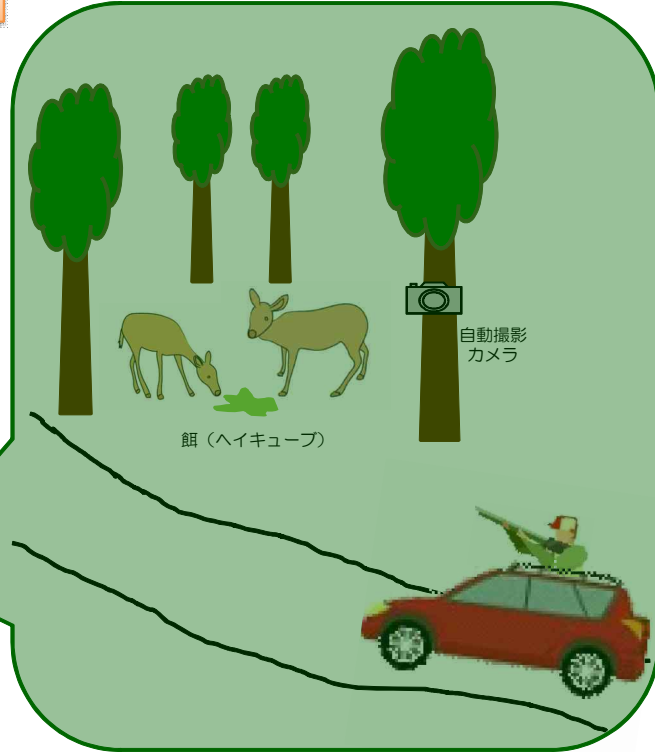
取組名

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備（拡充）

誘引捕獲方法（模式図）



● 給餌場所
— 射撃ルート



<イラスト：(独)森林総合研究所九州支所 八代田氏作成>



餌付けの状況

餌（ハイキューブ）を採食している2頭のニホンジカ（無雪期）
「2011年12月30日 第3番給餌場」

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	「くくり罠」講習会（新規）
流域名	富士
実施箇所及び実施日	富士宮市宝山 富士宮市有林 平成23年8月26日
取組の背景及び必要性	「野生鳥獣の共存に向けた生息環境等整備モデル事業」において、富士山のシカ被害対策の検討を重ねてきた中で、「くくり罠」での捕獲方法について講習の機会を設けてはの意見によるもので、シカ被害対策の一つの方策として期待される。
取組の内容	静岡県森林林業技術研究所森林。林業研究センター及び地元猟友会を講師として、静岡県、富士宮市、裾野市、御殿場市、地元ボランティア2団体、静岡森林管理署が参加し、「くくり罠」の講習会を実施した。 参加人員 総勢68名 ①捕獲に関する規制の説明（静岡県自然保護課） ②横スプリング渡部式ほか3式のくくり罠についての取扱い、設置後の注意、捕獲直後の処理等の説明（森林・林業センター） ③6班に別れて「くくり罠」の設置する場所、設置の方法等につて猟友会から教わりながらの実習
国有林担当部局・役割	担当：静岡森林管理署 役割：開催に当たり連絡調整、国有林のシカ被害状況について、取材者の現地案内
連携協働相手先・役割	連携相手方：静岡県、静岡県森林林業技術研究所森林・林業研究センター、地元猟友会 役割：講師及び連絡調整

【 参 考 資 料 】

取 組 名

「くくり罠」講習会



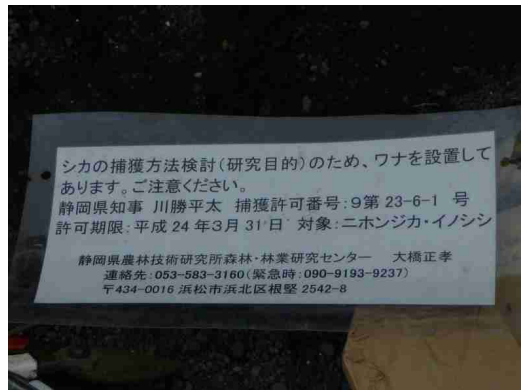
静岡県農林技術研究所森林・林業センター
研究員による「くくり罠」概要説明



静岡県自然保護課職員による
捕獲に関する規制の説明



「くくり罠」設置実習



「くくり罠」設置後
必ず注意標識を設置

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年記念「富士山国有林見学会」(継続)
流域名	富士
実施箇所及び実施日	静岡県御殿場市：富士山南山国有林 平成23年10月21日(金)
取組の背景及び必要性	国有林見学会の取組により、国有林が行っている事業と森林・林業の重要性等についてPRを行うことで、理解が深められる。
取組の内容	<p>新聞等で参加者を公募し、富士山国有林に所在する富士山自然休養林内にある高鉢駐車場から西臼塚方面へのハイキングを森林インストラクターによる案内と造林請負箇所(ウラジロモミ植栽木箇所の保育間伐活用型)地を案内し、森林の役割の重要性と国際森林年への理解を深めていただいた。</p> <p>今年のテーマ ①国際森林年(森を歩こう) ②富士山自然休養林の自然散策 ③ウラジロモミ低質材のシステム販売等の活用</p> <p>応募者 43名 当日参加者 38名</p>
国有林担当部局・役割	担当：森林インストラクター講師、静岡森林管理署 役割：参加者募集及び案内、造林請負箇所の説明
連携協働相手先・役割	

【 参 考 資 料 】

取 組 名

国際森林年記念「富士山国有林見学会」



西臼塚駐車場での集合写真



造林請負箇所で説明を聞く参加者
(ウラジロミ 保育間伐 活用型)



富士山自然休養林内
森林インストラクターによる植物等の案内
を聞く参加者

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林教室・体験林業（継続）
流域名	富士流域・静岡流域
実施箇所及び実施日	静岡県富士宮市：富士山国有林 平成23年10月16日 静岡県島田市：大代国有林内 平成23年5月10日～5月12日
取組の背景及び必要性	国民が森林・林業に対する関心が高まっている中で、小中学生を対象とした森林環境教育や体験林業を取り組むことにより、森林が地球温暖化防止として一躍を担っているなど、森林・林業の大切さを学び、森林を守り育てる気運の醸成が期待される。
取組の内容	①「富士山緑の募金の森」のボランティア活動に参加の児童、保護者を対象に富士山の動植物の観察による森林教室を行った。 児童と保護者24名 ② 島田市立金谷中学校の依頼により、2年生による職場体験学習を行った。①林況把握・立木調査②境界巡検（コンパス操作）③森林教室等を体験。 参加者7名 延べ14名 雨により2日間となる。
国有林担当部局・役割	担当：静岡森林管理署 役割：国有林野事業及び森林の役割等の説明、森林教室等の企画・実行
連携協働相手先・役割	連携相手方：県、市町教育委員会、該当校 「富士山緑の募金の森造成事業実行委員会」他 役割：参加者の輸送、安全管理

【 参 考 資 料 】

取 組 名

森林教室 ・ 体験林業

○体験林業



コンパスの操作を体験



立木調査の体験

○児童と保護者参加の森林教室



カモフラージュ



ビンゴゲーム

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年記念「大井川上流自然観察会」 (新規)
流域名	静岡
実施箇所及び実施日	千頭山国有林内 (川根本町プロムナードコース) 平成23年9月24日 (土)
取組の背景及び必要性	自然観察会の取組みにより、国有林のPR及び森林の重要性について理解が深められる。
取組の内容	<p>公募により参加者を募り、川根本町との共催で、千頭山国有林内にある「川根本町プロムナードコース」を森林インストラクターによる植物等の案内で、国際森林年の日本テーマ「森を歩こう」でもあるハイキングを主に行い、森林の役割の重要性への理解を深めていただいた。</p> <p>公募者数 20名 応募者 20名 当日参加者 8名 台風15号の後等で参加者激減</p>
国有林担当部局・役割	<p>担当：森林インストラクターしずおか、静岡森林管理署 役割：参加者募集及び案内、国有林野事業及び森林の役割等の説明</p>
連携協働相手先・役割	<p>連携相手方：川根本町 役割：植物、樹木等の説明</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名

国際森林年記念「大井川上流自然観察会」



千頭山国有林内
尾崎坂展望台にて



夢の吊橋を渡る参加者



「森林インストラクターによる
植物案内